

-----7月13日-----

2015年

※ 今週のアウトルック (7/13~7/17)

先週は、ギリシャの国民投票の結果よりも中国株の下落の方が、大きく影響しました。月曜日の寄り付きこそ、大きく円高が進んで始まりましたが、すぐにある程度持ち直し、それほど大きな影響が出ない状況で週中盤まで進みました。

水曜日に中国株式市場のパニック的な売りで、大きく円高が進む場面もありましたが、週末までには中国株式市場も落ち着きを取り戻し、全般的に週初より円安が進んでいるようです。

今週は、ギリシャ問題が良い方向に向かっているため、円安要因となっていますが、中国株式市場はまだ余談を許さない状況のように思います。

先週ドル円は、中国株式市場の大幅下落の影響で、週中盤には120.5円付近まで下落しました。週後半は、ギリシャ問題に進展が見られたため、大きく円安方向に進んでいます。

今週は、ひとまずギリシャ問題が落ち着けば、もう一段ドル高円安が進む可能性が強いように思いますが、中国株式市場の不安要素は多々あるように思います。

株式市場の動きを睨みながらの、神経質な展開も予想されます。

ドル円の予想レンジは120.5円から124円です。

先週ユーロ円は、ギリシャ問題の影響で週初めの寄り付きこそ大きく下げて始まりましたが、その後持ち直し、中国株などの影響で週中版までは134円付近で推移しましたが、ギリシャ問題の進展で、週末には137円付近まで回復して終了しました。

今週は、ギリシャ問題が一度落ち着きそうな状況で、もう一段ユーロ高が進む可能性もありますが、中国株式市場が再び下落した場合は、影響は避けられないと思います。

ユーロ円の予想レンジは133円から140円です。

ポンドもギリシャ問題が落ち着きを取り戻した影響で、再び196円のレジスタンスブレイクに向かう可能性もありますが、株式市場の動きには大きく影響されそうです。

ポンド円の予想レンジは185円から196円です。

今週は、ギリシャ問題がひとまず落ち着くことが、円安要因となりそうですが、中国株や他の株式市場の動きに神経質な展開となりそうです。

また、原油市場もこのところ不安定な動きを見せており、目が離せないように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。